



十小だより

令和6年1月9日
第9号
府中市立府中第十小学校

子どもたちが生きる世界が平和でありますように

校長 草刈 あずさ

新年、あけましておめでとうございます。1月1日の令和6年能登半島地震、1月2日の羽田空港における飛行機事故が続きました。心よりお見舞い申し上げます。

さて、10年前の2014年は、ウクライナで親ロシア政権が反政府デモで倒れ、クリミア半島にロシアが軍事介入した年でした。8年後の2022年に戦争が始まり、今もなお、多くの方が命を落としたり、不安を抱えながら暮らしたりしています。また、資源の輸入などに関連した物価高で、離れた日本でもその影響を強く受けているところです。

私は12月下旬に、茨城県阿見町にある予科練平和記念館に行ってきました。予科練とは、海軍飛行予科練習生のことで、昭和5年から20年の終戦までに24万人の選ばれた少年たち（14歳から17歳）が特別な訓練を行い、特攻（特別攻撃隊）として出撃した人も多くおり、多数の戦死者が出ました。特攻の戦死者の7割が予科練の出身であると言われています。あこがれて選んだ道ながらも、その後、戦線へと向かう若者の気持ちや、それを見送る家族の気持ちは、今の平和な日本に生きている人でも共感できるものです。にもかかわらず、「選ばれた少年たち」であるのは、当時は、予科練などの軍隊に関する学校に入ることにあこがれる人が多くいたからで、それは、当時の教育や社会情勢によるものです。映画「ゴジラー1.0」を見ましたが、今でも日本では戦争や特攻が描かれており、忘れてはならない記憶となっています。教育に携わる者として、あらためて教育の影響の大きさを感じ、その重責に気が引き締まります。

2024年の年始、子どもたちが生きていく社会が平和であることを心から願うとともに、公教育として子どもたちが社会の出来事にも目を向けられるようにしていきたいと強く思いました。

子どもたちと教職員、保護者や地域の皆さまと一緒に府中第十小学校をよりよい学校とするため、力を合わせていきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

PTAの加入についてのお願い

令和6年度の新1年生から6年生の各ご家庭に、PTAの入会についての書類を提出していただくことが12月のPTA運営委員会で話し合われました。PTAは社会教育関係団体ですが、子どもたちが同じ学校に通う保護者が、ともに手を携えて校内外の子どもたちの活動を支えていくためにも、基本的には加入していただきたいと考えております。

保護者の方の「負担感」を少しでも解消するために、ボランティアによる行事の手伝いや漢字検定の外部委託など、PTA活動の見直しも絶えず行っています。また、本部役員のやりがいや働き方改革にも取り組んでいます。

十小の保護者の方の温かい雰囲気は学校の宝物です。今後も、引き続き、よろしくお願いいたします。